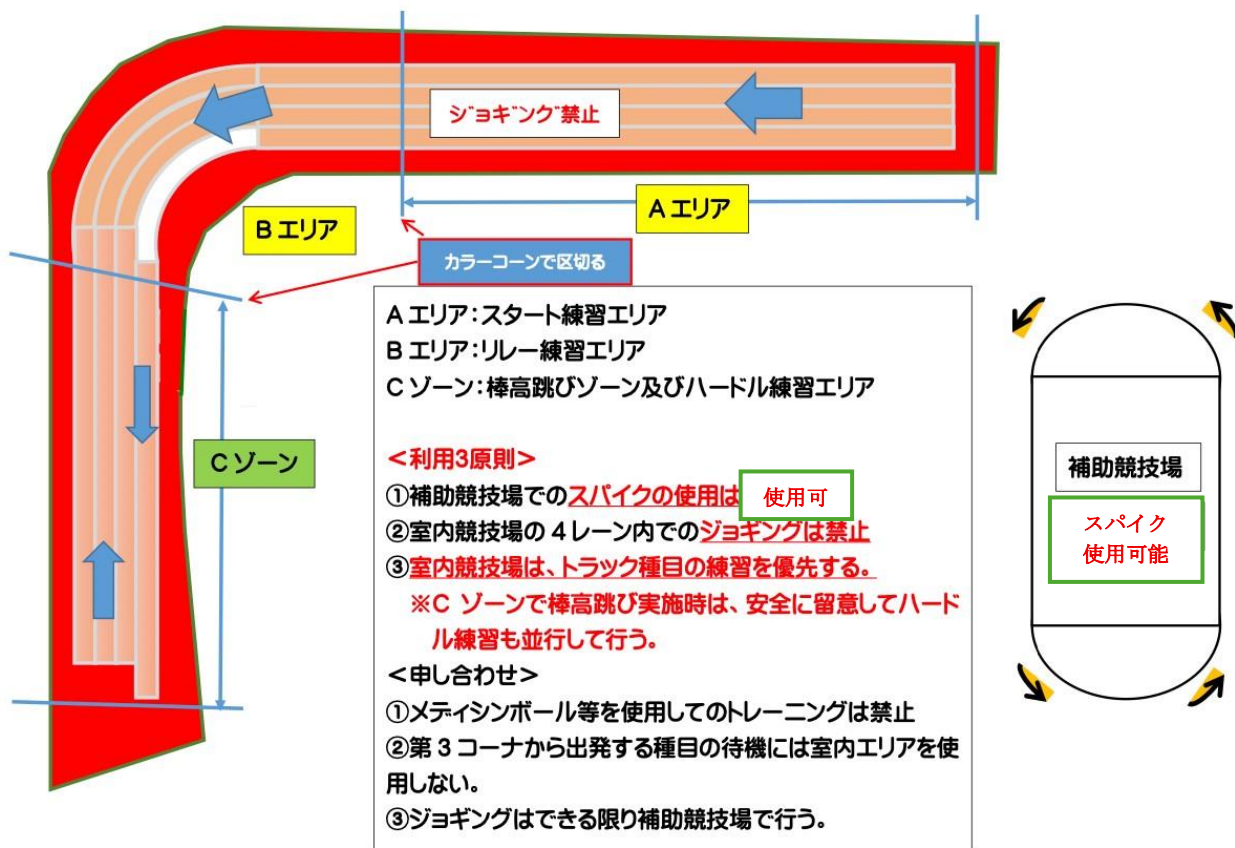


# 競技注意事項

1. 競技規則について本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技注意事項により実施する。
2. 練習について

## 【大会時の補助競技場・室内競技場の利用の仕方】



(1) 補助競技場及びバックスタンド下の雨天走路において、その日に競技が行われる種目の練習を審判員の指示に従い、安全に留意して行うこと。ピストルの使用は禁止する。屋外補助競技場ではスパイクの使用を禁止する。

(2) 雨天走路に関して、第2コーナー（1500mスタート）から第3コーナー（200mスタート）方向へ走行すること。（詳細は本注意事項の高松市陸協の定める下図に従うこと）

(3) 補助競技場及びバックスタンド下の雨天走路での投てき種目の練習はできない。投てき種目については、競技開始1時間前からのみ主競技場で審判員の指示に従い練習することができる。

## 練習場使用日程

|                             | 9月20日(土)                   | 9月21日(日)                   |
|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 主競技場                        | 9:00～11:30<br>・トラック        | 7:30～9:30<br>・トラック         |
| 雨天練習場<br>(競技使用区域外)<br>補助競技場 | 9:00～18:00<br>・トラック<br>・跳躍 | 7:30～17:00<br>・トラック<br>・跳躍 |

### 3. 招集について

- (1) 招集場所は、第2コーナー外側付近に設ける。
- (2) 招集開始の時刻及び招集完了の時刻は次の通りとする。

|         | 予選                              |       | 決勝    |       |
|---------|---------------------------------|-------|-------|-------|
| 招集時刻    | 開始                              | 完了    | 開始    | 完了    |
| トラックの部  | 30 分前                           | 20 分前 | 25 分前 | 15 分前 |
| フィールドの部 | 1時間前に現地に入場し練習 40 分～30 分前までに招集完了 |       |       |       |

フィールドへの入場は、1時間前を厳守すること。また下記的方式で各自で入場すること。

フィールド種目の入場は、第2ゲート(招集所・1500m スタート付近)からスタンド内に入り、下記の導線を辿ること。やり投・円盤投・ハンマー投については第2ゲートから直接フィールドへ入場。走高跳・砲丸投については第2ゲートからバックストレートを移動し、第3ゲート(200m スタート付近)からフィールドへ入場。棒高跳については第2ゲートからバックストレートを移動し、屋内競技場へ入場。走幅跳・三段跳は第2ゲートからバックストレートを移動し、第4ゲート(100m スタート付近)からスタンド前の競技場に入場。

- (3) 招集完了時刻の5分前に招集所で待機し、最終チェックを受ける(代理人は不可)。その際、競技者係にナンバーカード、スパイク、衣類、持ち物等の確認を受け、その後競技者係の誘導に従う。棒高跳に限り各自で入場し、招集完了時刻に競技場所最終チェックを受ける。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。
- (5) 2種目以上を同時刻に兼ねて出場する競技者は、競技開始前に2種目同時出場届を提出する。
- (6) リレー競技に出場するチームは、決勝の招集完了時刻の1時間前までに競技者招集所に用意しているオーダー用紙にメンバーを記入し、競技者係に提出する。
- (7) 携帯電話、CD 等、競技規則第 144 条3(b)に関わる機器は、競技場内に持ち込めない。
- (8) 学連登録時の氏名と番号がプログラム上のそれと異なり、主催者側に過失が認められない場合は、競技に出場できないことがある。

### 4. 棄権について

- (1) 代表者会議で棄権届一覧を提出した後の競技者の棄権については、大会の権威と運営の円滑を期すために極力避ける。
- (2) 当日の棄権は原則として認めない。やむを得ず棄権する場合は、棄権届1枚(招集所に用意してある)に該当校の監督のサイン・捺印し、招集開始時刻までに競技者係に提出する。

### 6. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは学連登録用を使用する。跳躍競技に出場する競技者は、胸または背のいずれかに付けるだけでよい。
- (2) トラック競技の男女の 100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、3000mSC、5000m、10000m、100mH、110mH に出場する選手、およびリレー種目の決勝アンカーで、腰ナンバーカードを着用するので、腰ナンバーカードを招集の際に受け取る。

### 7. 競技場の入退場について

- (1) 競技場所へは係員の誘導・指示により入場する。
- (2) 競技終了後は競技役員の指示に従い退場する。

## 8. 競技について

### (1) トラック競技について

- ① 不正スタートについては競技規則 162 条に適用し、不正スタートの責任を有するものは 1 回で失格とする。
- ② 短距離走では、競技者の安全のためにフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走る。
- ③ 長距離種目については、必要に応じて給水所を設ける。
- ④ 次ラウンドへの同タイム抽選を行う場合、当該競技者または代理人が呼び出しアナウンス後 10 分を経過しても集合しない場合は、棄権したものとみなす。
- ⑤ 800m で最終枠に同タイムが出た場合は、次のラウンドに進出できるものとする。9 名になった場合は 8 レーンに、10 名になった場合は 7・8 レーンに 2 名の競技者を配置する。

### (2) リレー競技について

- ① リレー競技は同一のユニフォームを着用すること。
- ② レーンで行うリレー競技の競技者は、ダッシュマークとして自分のレーンにチョークや類似品を使わずに、最大 50 mm×400 mm の粘着テープによって印を 1 ヶ所つけてもよい。その印は各チームで準備し、自チームの競技者が必ず取り除くこと。
- ③ リレーチームの編成は、どのラウンドにおいても所属チームのメンバーでプログラムに記載されている競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも 2 人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。
- ④ リレーオーダー用紙提出後の選手交代は原則認めない。ただしリレーオーダー用紙提出後、負傷などの理由によりメンバーを変更する場合のみ選手交代を認める。その場合、総務の了承が必要となる。

### (3) フィールド競技について

- ① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まるまで下記のとおりとする。

|     |    | 練習           | 1    | 2    | 3    | 4    | 5～     |
|-----|----|--------------|------|------|------|------|--------|
| 走高跳 | 男子 | 1m55         | 1m60 | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 3cm 刻み |
|     | 女子 | 1m20         | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 3cm 刻み |
| 棒高跳 | 男子 | 5m00<br>4m30 | 4m20 | 4m40 | 4m60 | 4m80 | 5cm 刻み |

女子の棒高跳は、競技開始前の協議により練習の高さ等を定める。4m00 まで 10cm 刻み。

- ② 悪天候などの不測の事態が発生した場合は、天候・選手の状況等、審判長の判断により設定の高さを変更する場合がある。
- ③ 試技者が 1 人となった場合のバーの上げ方は、本人の希望により決める。
- ④ 棒高跳の支柱位置の申請は、ピット到着後競技役員が受け付ける。
- ⑤ 跳躍競技における競技場内での練習は 自由とし、競技役員の指示に従う。ただし、投てき競技における競技場内での練習はすべて競技役員の指示に従う。

⑥ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。なお、フィールド内でのやりの突き刺しは禁止する。

⑦ 三段跳の踏切版は、砂場からの距離を資格記録によって11m及び10m、女子は8mとする。

#### (4) 抗議について

抗議は競技規則 146 条に従って定められた時間内に、競技者自身または各校監督などが審判長に口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不服な場合は預託金(1万円)を添え、総務を通じて上訴審判員に文書で申し出る。なお、この裁定は最終の決定とする。

9. 助力について競技者に対する助力は、競技規則 144 条に従う。競技中、競技場内で助力を与えたり、受けたりしている競技者は審判長によって警告され、さらに助力を繰り返すとその競技者は失格になるということを警告される。フィールド競技の関しては、競技役員の許可のもとスタンドのコーチとコミュニケーションをとることができるが(競技区域内から)、競技役員の指示に従わない場合は助力を受けたものとみなす。

#### 10. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 練習用としても、個人の用器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。

#### 11. 表彰について

- (1) 各種目 1～3 位のみを表彰式で表彰する。競技終了後、競技結果のアナウンス後 15 分をめぐに表彰式を行うので、玄関ロビーの被表彰者控所に集合すること。表彰を受ける際は、各大学のユニフォームを着用すること。
- (2) 競技等の都合で本人が出られない場合は代理人の待機を認める。

- (3) 各種目の対校得点は下記のとおりとする。

| 順位 | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 | 6 位 | 7 位 | 8 位 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 得点 | 8 点 | 7 点 | 6 点 | 5 点 | 4 点 | 3 点 | 2 点 | 1 点 |

- (4) 総合得点が同点の場合は、優勝種目数の多い大学を上位とする。優勝種目数が同じ場合は、2 位種目、3～6 位種目の各々を比較し、より多い大学を上位とする。

#### 12. 一般注意事項

- (1) 大会期間中競技場で発生した疾病・傷害はメインスタンド下の医務室で応急処置を行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 更衣室はメインスタンド下の部屋を使用すること。荷物は各自で管理すること。紛失など万一のことがあっても主催者側は責任を持たない。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、大会本部の記録証交付係に記録証交付願及び交付料金 1000 円を添えて申し込むこと。

- (4) 記録および番組編成は競技場 2F の中央売店付近の掲示板に掲示する。
- (5) ゴミ等は、各大学で責任をもって集め、各自で持ち帰ること。
- (6) 部旗・横断幕・のぼりはバックスタンドの中段および上段の手すりのみに掲げることができる。その際、ガムテープ（メンディングテープを含む）の使用を禁止する。また個人名を記した旗・横断幕・のぼり等を使用してはならない。メインスタンドおよびスタンド裏においては通行の妨げにならないよう場所取りには配慮すること。
- (7) 集団応援・連呼応援は禁止する。ルールに従わない大学は出場を停止する。
- (8) 主催者の許可なく競技場内の電源使用することを禁止する。
- (9) 大会の映像は主催者の許可なく第三者がこれを利用すること(インターネット上において映像や動画を配信することを含む)を禁止する。